

福井県 福井営業所

## 株式会社松川レピヤン



## Always Challenging?



代表取締役社長 松川 晃久  
本社所在地 福井県坂井市丸岡町舩田 2 0 - 5 - 1  
主な事業内容 細幅織物製造  
従業員数 95 人  
健康保険組合名 全国健康保険協会福井支部  
URL <https://rapyarn.jp/>



私たちの織りネームは、単なる表示ラベルではなく、ブランドやお客様の想いをつなぎ、新たな価値を届けるものです。お客様の求めるものを形にし、社会に貢献するとともに、社員が働きがいと成長を感じられる環境づくりにも力を注ぎます。

先代が築いてきた「モノづくりへの誇り」と「人とのつながり」を大切に、2025年の創業100周年を新たな挑戦の始まりとし、「レピヤンらしさ」を胸に福井の魅力を世界へ発信し続けます。

## 社員一人ひとりの元気が会社の力に

私たちの会社は、社員の健康と幸せを大切に、その力を伸ばし、挑戦を支える環境を育んできました。健康は成長の土台であり、一人ひとりがいきいきと働くことこそが、企業の未来を創ると信じています。健康経営という言葉が広まるずっと前から、「必要だと思う時に、必要だと思うことを実行してきただけ」と語るのは、現相談役の松川博美。

すべては“社員ファースト”という想いから積み重ねてきた取り組みであり、その結果として健康経営優良法人の認定やブライツ500を目指すご縁をいただくことになりました。



---

## 小さな声に耳を傾け、形にする——“その時”の最善を積み重ねて

どの取り組みにも、きっかけがあります。

たとえば「胃カメラ・大腸検査」や「整体」、「エステ会」「からだマルシェ」も、社員の“こんなことがあったら嬉しい”という声から生まれたものでした。

インフルエンザの集団予防接種や、がん検診の補助も同様です。

コロナ禍には、マスク・消毒液・検査キットの配布をすぐに実施。

社員の安全と安心を守るため、その時その時に最善と思えることを即座にかたちにしてきました。

これらは決して大きな改革ではありません。けれど、積み重ねることで社員の会社に対する信頼と安心感が生まれていったのです。



---

## 運動と食の場づくり——笑顔で「つながる」健康活動

社員数の増加や年齢層の広がりにともない、「運動」と「食」を通じたコミュニケーションの場も重視するようになりました。

社内で体育係を募集して「体育の時間」を作ったり、社員の家族も巻き込んだ「レピヤン運動会」は、笑顔と一体感を生む貴重な場となりました。

食の面では、2022年の新社屋完成を機に、社員食堂「manma」を開設。

ここで料理長を務めるのは、“レピヤンの母”とも呼ばれる創業メンバーの一人です。

社員の門出には赤飯を炊き、バレンタインには手作り惣菜を配っていた彼女を中心にmanmaメンバーの作るランチは、栄養満点・愛情たっぷり。

社員たちは心身ともに癒される時間を、日々味わっています。



---

## 専門職の力を活かす——企業保健室「anono」の誕生

健康を“だれか任せ”にしない力を、ひとりひとりに——

そんな想いから誕生したのが、企業保健室「anono」です。

保健師・看護師・理学療法士・管理栄養士・救命救急士といった専門職が集まり、毎月テーマを変えて健康講座を開催。

血圧測定、体組成計、血糖値測定も活用し、自分の体と向き合うきっかけをつくっています。

また、個別面談や家族の健康相談にも対応し、よりパーソナルな支援を届ける取り組みも強化中です。

anonoは、心と体の“寄りどころ”として、今や多くの社員にとって認知される存在になってきました。



---

## 認定は“結果”であり、“目的”ではない

私たちは、認定を取るために健康経営をするのではなく、「社員が元気で、幸せに働けるように」と願って、今まで実践を積み重ねてきました。

その結果として、健康経営優良法人やブライツ500を目指すご縁をいただけたことは、嬉しくもあります。

けれど、これからもその姿勢は変わりません。

社員の声に耳を傾け、その時必要なことを、必要な分だけ、丁寧に。

健康を通じて社員も、会社も、地域も、笑顔になれる未来を見つめていきます。

